

保健センターからのお知らせ

みらいある君たちへ ~ 薬物乱用防止 ~

最近、大学生が薬物を乱用し検挙される事案が続発するなど、大学生による大麻やMDMAを中心とする薬物乱用の拡大が懸念されています。警察庁の報告によると、昨年1年間に薬物事件で摘発された大学生は141人と過去30年間で最高を記録したが、今年は9月までで既に107人が摘発されているとのことです。

薬物乱用は、自分の身体に影響を及ぼすだけではなく、薬理作用から起こる幻覚、妄想等の精神症状が引き金となって殺人、強盗、放火等の凶悪犯罪や重大な事故等を起こすなど、社会に対しても著しい影響を与えてしまうことがあります。

「一度くらいなら」という軽い気持ちで手を出してしまったら最後、取り返しのつかないことになるのが薬物です。未来ある学生の皆さんは、誘い込もうとする相手の甘い言葉に気持ちが揺らぐことがないように、**薬物に対する正しい知識と誘惑は断固拒絶するという強い勇気**を持ってください。

【まめ知識その1】 薬物(ドラッグ)とは？

心や身体に悪い影響を与える薬です。 覚せい剤(エス・スピード)、大麻、麻薬(コカイン・ヘロイン)、MDMA(ラブドラッグ)、マジックマッシュルーム、シンナー(有機溶剤)、向精神薬(睡眠薬・精神安定薬など)をいいます。煙草やお酒も薬物の一つです。

【まめ知識その2】 薬物乱用とは？

覚せい剤や大麻など法律で禁止されている薬物や、使用方法が法律で決められているシンナーなどの有機溶剤を、遊び目的で**不正に使用**することをいいます。医薬品として販売されている薬も、不正な目的・方法で使用すると「薬物乱用」になります。

【まめ知識その3】 薬物のフラッシュバック現象とは？

フラッシュバックとは、薬物乱用を止めても睡眠不足や疲れ、ストレスをきっかけに突然幻覚や妄想などの精神症状が起こることをいいます。

薬物乱用等でお困りの方は

埼玉県警及び(財)埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センターに相談して下さい。また、同センターにある「ホワイト・テレホンコーナー」では、電話での相談も受け付けています。

やめてにここに よく なれ
電話 048 - 822 - 4970

睡眠不足やストレスなどで体に不調を感じた時は、遠慮なく保健センターに相談して下さい。



♥♥ 保健センター ♥♥
048-854-5356

平成16年11月18日